

「社会を明るくする運動」弁論大会 7月22日

7月22日(金)、有明総合文化会館の大ホールにおいて、第66回「社会を明るくする運動」第63回中学・高校生弁論大会が開催されました。中学の部には島原市内5つの中学校から10名の中学生が、高校の部には島原半島内の8つの高校から13名の高校生が参加しました。本校からは、機械科3年の三浦啓君、電気科3年の光永翔君の2名が出演し、それぞれ『祖父』、『瞳』という演題で、思いやりを持つことの大切さや明るい社会を築くためには周囲への配慮が大切であることなど、自分の経験を踏まえた意見を述べました。

審査の結果、最優秀賞は逃したものの優良賞「島原市教育委員会賞」に、光永君が選ばれました。審査委員長の宮崎金助氏からは、「時間オーバーも少なく誰もが原稿を覚えていて、態度に余裕があった。5年前とは雲泥の差があるほどレベルの高い弁論であった。」と講評がありました。



落ち着いていた三浦君



優良賞を獲得した光永君

オープンスクール開催 2日

8月2日(火)、オープンスクールを開催しました。半島内および諫早市内の中学3年生181名(内女子10名)、47名の保護者、12名の引率教員の総勢240名が参加しました。今年度は、できるだけ少ない人数で各科を回れるよう午前部と午後部に分けて実施しました。

参加者は、本校の一番の強みである進路についての説明を受けた後、各科を回り、実習の説明を聞いたり、簡単な実習の体験をしました。参加した中学生からは、「楽しい学校だと思った。是非工業高校に入学したい。」「工業高校の各科の違いがよく分かったので、良い経験になった。」など、好印象の感想をいただきました。

10月28日(土)には、本年度最後の学校説明会を本校で開催します。こちらにも是非、多くの中学3年生に参加していただきたいです。



オープンスクールの様子

インターハイ及び全国大会結果報告

平成28年度全国高等学校総合体育大会「2016 情熱疾走 中国総体」が7月28日(木)から8月20日(土)まで開催され、中国・近畿の7県で高校生の熱い戦いが繰り広げられました。また、第54回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会も広島で開催されました。この全国大会に、本校から9名の生徒が出場しました。結果を下記のとおり報告いたします。熱い応援、ありがとうございました。

◆中国総体 陸上競技(岡山県岡山市)

荒木 柊人 (F3) 400mハードル 58秒93 予選敗退

◆中国総体 ソフトテニス競技(岡山県備前市)

高木 純司 (F3)・宮崎 潤 (M3) ペア 一回戦 4-2 和歌山北、二回戦 2-4 南陽工業(山口) 敗退

◆中国総体 レスリング競技(広島県東広島市)

濱本 駿 (A3) 50kg 級 一回戦 6-2 高知東、
二回戦 鳥取中央育英 Tフォールで敗退

稲田 祐介 (M3) 60kg 級 一回戦 3-5 荊崎工(山梨) 敗退

馬渡 和音 (E3) 66kg 級 一回戦 2-0 山形荷、
二回戦 倉吉総合産(鳥取) Tフォールで勝利、
三回戦 荊崎工 Tフォールで敗退

◆第54回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会(広島県安芸太町)

ビームライフル立射60発(個人)

渡辺 成哉 (M3) 614.2点 29位

佐用 奏 (M3) 609.9点 47位

酒井 紳吾 (E3) 606.3点 69位



ライフル射撃競技での練習の様子

2016 柳川ソーラーボート大会 6・7日

8月6日(土)・7日(日)、福岡県柳川市で開催された「2016柳川ソーラーボート大会」に本校機械科3年生の課題研究班(江川侑汰君、岡本涼太君、苑田直人君、平川優君、船戸極君、松本慧汰君)が出場しました。



大会には、地元福岡県をはじめ九州各県、山口県、そして遠くは高知県から工業系の高校生が参加し、周回レースに22艇が、スラロームコンテストに15艇のソーラーボートが出走しました。

【競技結果】

◆スラロームコンテスト(約150mの直線コースに6~10m間隔で設置されたブイをスラロームしてタイムを競う。)

7位(タイム:43秒05)入賞ならず

◆周回レース(柳川市内川下りコースを用いた1周3.1kmを予選で1周、決勝で3周してタイムを競う。)

予選:17位(タイム:18分54秒53)予選敗退

リベンジレース:7位(タイム:19分33秒30)決勝進出ならず

スラロームコンテスト、周回レースともに昨年(スラローム:39秒32、周回予選:16分59秒15)よりも記録が伸びず、残念な結果となりましたが、この経験を次回に活かし、リベンジを果たして欲しいと思います。生徒の皆さん、お疲れ様でした。

平和学習 9日

8月9日(火)、長崎に原子爆弾が投下されて71年目を迎えました。本県の小・中・高の学校では、この日を登校日に設定し、平和教育を行っています。本校では、体育館で『ナガサキの少年少女たち』と『あの日この校舎で~50年前に被爆したナガサキの記憶から』の2本のDVDを観賞し、原爆投下に至る経過や原爆開発、そして被爆の惨状について学ぶ機会と致しました。生徒達は、悲惨な映像に目を背けず、原爆投下による惨劇を真剣な表情で観賞しました。その後、生徒会長の清松 翔輝君(E3)が、生徒会役員で起草した平和宣言文を読み上げ、恒久の平和を祈りました。また、美術部員が、平和宣言文をパネルに描き、全校生徒に披露しました。パネルは現在、本館2階の渡り廊下(島エギャラリー)に展示しています。



「平和宣言文」

1945年8月6日8時15分広島、8月9日11時02分長崎に原子爆弾が投下されました。

それから数十年経っても、世界ではテロや紛争が起こり罪なき人々の命が奪われています。この現状をあなたはどうかとらえますか。その犠牲者があなたの家族、友達、恋人だったら。この悲劇を繰り返さないために、私たちにできること。それは戦争の悲しみを後世に伝え、相手を理解し、行動に移すことです。

時の流れと共に被爆者の高齢化は進み、戦争の語り手は減っていきます。私たちは被爆された方々の思いを、痛みを受け継ぎ伝えていかななくてはなりません。

今なお続く戦争は、自国の利益のみを考えるためです。すべての争いの根にある人の心が変わらない限り、戦いは止みません。私達人一人ひとりが、感謝や思いやりを持って行動していくことを世界に向けて、発信していくことが大切ではないでしょうか。

微力なようでも決して無力ではありません。

今ある「普通」の生活の有難さ、生きてここにいる意味を私達はしっかりと刻み、戦後71年にあたる今日、もう一度平和について考えていきましょう。

・戦争の悲劇を後世に伝えていくこと
・相手を理解し、感謝や思いやりの心を持って行動すること
私達は日々でも平和を意識し続けていくことをここに宣言します。

平成28年8月9日
長崎県立島原工業高等学校 生徒会

本多優介君(M2):若年者ものづくり競技大会「フライス盤」職種 金賞(厚生労働大臣賞)受賞

8月5日(金)から8日(月)まで、栃木県の県立県中央産業技術専門校において若年者ものづくり競技大会が開催され、フライス盤職種に本校から本多 優介君(M2)が本県代表として出場しました。全国から集まった31名の若き技能者との競技の結果、最高位の**金賞(厚生労働大臣賞)**を受賞し**日本一**に輝きました。

本校にとっては、**2年連続3度目**の快挙となりました。

なお、本大会には長崎工業高校から「木材加工」に2名、「自動車整備」、「機械製図(CAD)」にそれぞれ1名の4名も出場しました。競技結果は、「木材加工」で金賞・銅賞、「自動車整備」で金賞、「機械製図」で敢闘賞を受賞し、本県の出場者全員が入賞者を果たし、本県工業高校生の技能レベルの高さを見せつけました。



雲仙市長表敬での記念写真撮影
左から本多君、金澤市長、片山先生

3年生夏季補習(7/21~28、8/22~29)

進路決定に向けた3年生の夏季補習(就職・進学・公務員)を夏休みの前後12日間で実施しました。

各教科における基礎学力の定着、SPI検査、そして面接練習を中心に行いました。最後の5日間では校長先生による面接練習も行いました。

3年生の皆さん、合格や内定を勝ち取るため、やれることは全てやり尽くして試験に臨んでください。